

# 質問通告書

次の件について質問の通告をいたします。

令和 7年11月 4日

質問者氏名 塚原正彦

牛久市議会議長 殿

質問形式	<input checked="" type="radio"/> 一括方式
(該当する方式に○を記入してください)	一問一答方式

質問事項	要旨
新しい富をつくる公民連携の制度設計を提案する	富の考えが変わり、公共サービスを自治体が税金で提供する従来のやり方から企業、NPOなどが学び合い、プロジェクトをつくり、地域社会に富を循環させる動きが各地で起き、成果をあげている。  横浜市には、民間事業者が公民連携に関する相談・提案をする窓口として「共創フロント」を開設されている。ここでは、市民、民間からの新しい提案を話し合い、課題解決のためのプロジェクトを組成する仕組みが用意され、官民が知恵と資金を分担するなどのプロジェクト開発の支援が行われる。
	小松市は、市制 90 周年の節目となる 2030 年を目標に「未来図書館」を創設するプロジェクトをすすめている。市民、ティーンズ世代、民間事業者との対話をとおし、共創をキーワードに、公と民が連携して複合施設を建設、運営するスキームが組み立てられ、これまでのハコモノ行政、公が主導して事業者に渡すサービスとは一線を画し、開館に向けて、公と民と共に協力し、資金の調達を行い、多彩な事業を開発するための活動がスタートしている。
	これらの取り組みは、地域住民や NPO、大学、民間研究機関等と自治体が連携して、新しい公共サービスを策定し、その担い

	<p>手にもなってもらい、それぞれが学びあい、成長する持続的な事業開発と運営スタイルで、自治体経営の未来モデルである。</p> <p>先進事例を参考に、これまで牛久市が取り組んできた官と民の仕事を区分けし、官が主導し、民間に業務を渡す事業スタイルを抜本的に見直し、公民連携、共創という視点にたって制度設計に着手することを提案するが、考えを伺う。</p>
--	--

※ この内容は具体的に記載してください。